

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 3年 3月 27日

公表: 令和 3年 3月 29日

事業所名 ばるの木ひえだ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			
	2	職員の配置数は適切である	2	3		基準数には達しているが、手厚い療育を行う為に補充していきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4		肢体不自由児の受け入れがある場合には配慮したい。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			定期的な会議の開催を行いたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		保護者からの評価を受け、事業所内で共有する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	3	毎年HPで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		事業所規模が小さいため行っていないが必要があれば行っていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2		事業所内での資料等の閲覧はできるようにしてあるが、積極的に外部研修に参加できる機会を増やしたい。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		サービス担当者会議やヒアリングの情報は共有している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			標準化はされていないが整備・準備をしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	利用児童の特徴を職員で共有し行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		利用児童に飽きがこない内容を提供している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		利用児童一人一人の成長に合わせて設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			療育内容は工夫しているが職員の人数を増やしてより良い内容にしたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		定期的なミーティングにより確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		当日の振り返りや次回の準備を含め行っている。	送迎等により限られた時間で行うので、十分な時間の確保ができるように工夫したい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		業務日誌とは別に個人日報を記録し、検証材料としている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		業務日誌とは別に個人日報を記録し、検証材料としている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	1	厚生労働省が配布しているガイドラインを職員に配布し周知している。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	毎回のサービス担当者会議に児童発達支援管理責任者が出席している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		学年便りや保護者とのSNSで連絡が取れる体制を取っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当しない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1		一部の事業所とはできているが、関係事業所との連携を強めていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3		今の所、事例がないが今後必要な場合には対応するようにしたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	モニタリング等で定期的に情報交換をしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		健常児との交流は学校で行っているため、事業所として行う必要性を感じていないが、要望があれば行っていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4		R3年度から発足する予定なので極力参加したいと考えている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		毎回の療育終了後に実地している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	毎回の療育終了後の面談時間に質問や相談を受けている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		利用契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		毎回の療育終了後の面談時間に質問や相談を受けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		保護者同士のつながりがあるため、事業所として開催する必要性を感じない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		保護者からの要望について職員で共有し、方向性を話し合っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		5		毎回の療育終了後に説明を兼ねての面談し情報交換をしているため会報とは発行していない。
	35	個人情報に十分注意している	5		鍵付き書庫にて保管管理している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1	毎回の療育終了後に説明を兼ねての面談を実地している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		招待等はしていないが、いつでも見学をもらえるようにしている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	4		職員に周知し、確認できようにする。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		毎年行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2		集団研修時の資料を全職員が閲覧できるようにする。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	契約時の重要事項説明書にて身体拘束に説明している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	4		おやつや食事の提供をしないので該当しない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	3		職員に周知し、確認できようにする。